

「平成26年度第1回習志野市社会教育委員会議」会議録

1. 日 時：平成26年7月3日（木） 午前9時から10時35分まで
2. 開催場所：習志野市仮庁舎3階大会議室
3. 出席者氏名
出席委員：牧野 岳彦委員、田尻 正代委員、合志 久恵委員、鮎川 由美委員、
山本 文男委員、宮内 宏和委員、桐生 庸介委員、槇 英子委員
欠席委員：中野 和寿子委員、竹内 比呂也委員
出席職員：植松教育長、広瀬生涯学習部長、結城生涯学習部参事、吉川資産管理室長、
櫻井生涯学習部次長、上野社会教育課長、浅野目青少年課長、
片岡生涯スポーツ課長、佐久間青少年センター所長、佐々木菊田公民館長、
寄主市民会館長、岡野大久保図書館長、生涯スポーツ課 佐久間主幹、
社会教育課 忍係長、池田主事

傍聴者：0人

4. 会議内容

委嘱状交付（進行：生涯学習部次長）

～開会～

1. 教育長挨拶
2. 委員自己紹介
3. 職員紹介
4. 社会教育委員の職務について
5. 委員長・副委員長選出

委員の互選により、委員長に鮎川由美委員、副委員長に山本文男委員を選出

6. 委員長・副委員長挨拶
7. 議事録署名人選出

委員長より牧野岳彦委員と田尻正代委員を指名

～議事～

8. 報告事項（進行：鮎川委員長）

- (1) 平成26年習志野市議会第2回定例会一般質問について及び(2) 各種審議会等委員の名簿について

上野社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

槇委員

一般質問において指導員の不足とあるが、何か対応しているのか。

浅野目青少年課長

配置基準を定めており概ね満たしているが、特別な支援を要する子どもへの加配が足りていない部分がある。広報や新聞折り込み広告等に指導員の募集記事を掲載しているが、なかなか集まらない。週5日の勤務は難しく、パート職員を雇用している。来年度からは法改正もあり、指導員不足が予想されるため、日々指導員の確保に努めている。

槇委員

指導員の仕事は専門性のある仕事だと思う。専門性の高い人を集めるなど、ターゲットを絞る必要がある。専門性を高められる研修などを整えた上での募集など育成に力を入れるべきではないか。本学でも特別支援の先生になりたい学生が多く、そのような学生が働くことで学生にとっても専門性を高めることができるのではないか。植草学園や千葉大等でも特別支援教育を実施している。さらに工夫して先進的に取り組んでほしいと思う。

合志委員

放課後児童会の保護者の方から話を聞くと、指導員が誰でも良いというわけではなく、市役所がやっているという安心感があって利用している。実際に指導員をやりたいという人もいるので、もっと柔軟な対応・やり方があればよいと思う。

また、来年度、人数が増えるにあたって、希望があったところに受け入れるのか、それとも指導員を配置できたところに児童を受け入れるのか。

青少年課長

これまでは全入制をとってきたが、来年度以降は1～3年生は全入制、4年生以降は利用定員制を設ける予定である。定員の枠を設ける中で、希望者については順次受け入れていきたい。将来的には、全ての希望者を受け入れる体制を整えていく。

山本副委員長

公民館の指定管理者制度導入の予想される効果について、本当に経費の削減になっているのか。

上野社会教育課長

指定管理者制度の具体的な効果としては、サークル活動活性化のための祝日開館・若い世代の活用活性化を図るための成人向け講座の増加である。経費の削減については、1千万円弱の経費の削減が見込まれている。その内訳は主に人件費である。

山本委員

1千万円も浮くのであれば、なぜこれまで導入しなかったのか。平成19年から導入に向けての意見があったにも関わらず、平成27年に導入するというのは時間がかかっている

るのではないか。

広瀬生涯学習部長

事を起こすには、議会の議決を得なければならず、議員や市民の合意形成がある上での準備期間が必要であった。また、先に図書館の指定管理者制度を導入したため、順番として公民館が次になったという経緯がある。そのあたりを御理解いただきたい。

山本副委員長

これまでも社会教育委員会でも議題となってきた問題。結局のところ、民間の人件費を抑えるということであると思うが、それによって効果が出るのであれば堂々と実践・発表していただきたい。今後のスケジュールについて、フィードバックの仕組みの構築とあるが、これによって指定管理ができるとはどういうことか。

上野社会教育課長

導入が遅れた理由の一つとしては、教育施設であるということが大きい。公民館は地域の学校であり、失敗は許されない。また、公民館の指定管理について、近年になり民間の事業者が増えてきたという事実がある。しかし、習志野市に合うかは別の問題であり、失敗が許されない状況の中で、教育委員会に配置された社会教育主事が問題点を指摘することがモニタリングであり、それを改善していくことがフィードバックである。

(3) 習志野市大久保地区公共施設再生基本構想について

吉川資産管理室長より資料のとおり説明

【質疑】

桐生委員

リノベーションをする場合に、元からある建物は70、80年が経ち、時期が来れば建て替えが必要になるのではないか。そのような今後の費用は含まれていないのか。

吉川資産管理室長

今の試算には含まれていない。しかしながら、鉄筋コンクリートは、時が経つに従い強度が増すため、100年、200年と使用することができる。リノベーションは骨組みだけを使用し、床等を変える、増築することで最終的には全く異なった建物を作ることができる。また、新築の場合にも、50年経つと部屋のニーズが変化し、付け替え等が必要になってくる。

合志委員

もし、新築する場合にはどこに建設する予定か。リノベーションと新築の場合における、利用率のアップはどのようになるか。

吉川資産管理室長

「都市計画決定」により、公園内に建てられる建物に制約があり、当初検討していた場所に建設することが難しく、場所は未定である。新築もリノベーションも利用率はほぼ同じにしていく。

宮内委員

アスベストの含量によって処分費用が違うが、その点を考慮しているのか。

吉川資産管理室長

アスベストの処理については、「ない」という調査結果が出て整備されている。しかし、まだ調査しきれていない部分もあるため、費用としては見込まれていないが、今後詳細な議論をしていく必要があるという意味で資料に掲載している。

鮎川委員

リノベーションの工事期間中は施設の休館期間等を考慮して実施していく分、工事期間が長くなると思うが、工事の年数はどのくらいか。

吉川資産管理室長

その点を考慮すると新築のメリットが大きいですが、部屋を使用しながらリノベーションする方法や、まず増築をしてからそちらを稼働しながらリノベーションをしていくという方法もある。具体的に検討していないが、少なくとも平成31年度末までに完成するスケジュールを組む。

合志委員

今ある場所に新築する場合にはまた時間がかかる。一方、骨組みだけを残して建てるとなるとまた変わってくる。内容的には計画次第で変わってくる。

吉川資産管理室長

そのあたりも含めて今年度から詳細に検討する。

槇委員

建てる場所が限られていると思う。利用している人にとって、1，2年使えないというのは、大きな期間になる。例えば、他の施設に代用する・機能を充実させるといったそういった配慮が必要であり、そのあたりも試算してほしい。

吉川資産管理室長

庁内でも閉鎖する施設があるということは好ましくないという議論がある。今年度、国の補助金が頂けることとなったため、当初の計画よりもより具体的な検討を検討していく。

田尻委員

大久保公民館を利用する際に、駐車場が少ないと思うがリノベーション・新築の際にはどのように考えているか。

吉川資産管理室長

現状の駐車場は坂道が危険であり、現段階では現在の駐車場を利用する予定はなく、公園内に今よりも十分に敷地を確保していく。現在検討中ではあるがタコ公園側に作りたいと考えている。できれば、有料駐車場を作りたいと考えている。

9. その他

社会教育課長より各種会議日程及び次回会議日程について説明

【質疑】

田尻委員

放課後児童会の指導員不足という課題の解決のためにも、指導員さん達にもアンケートをとってみてはどうか。

浅野目課長

平成25年度に、開設時間を変更することに伴い、指導員さんにアンケートを取った。その中で様々な意見を聞いた。すぐにもう一度アンケートを取るのは難しい。

～閉会～

5. 所管課名

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話番号 047-453-9382

FAX番号 047-453-9284